

＜景観整備の目標＞

- ・中層建物と戸建て住宅が調和した緑豊かな街並みの景観形成を目指します。
- ・都市基幹公園と水辺との一体化や、斜面樹林の保全・修復を目指します。
- ・旧集落の伝統的な景観資源・要素の保全・修復・活用を目指します。

＜全体方針＞

住・商・業の混在地区に一定のまとまりをつくり、低・中層建築物と高層建築物が調和する、活気・賑わいのある景観形成を目指します。

＜個別方針＞

- ①エリア内の都市河川空間との一体化によって確保されるオープンスペースを活かした水・緑豊かな街並み景観の形成を図ります。
- ②微地形と平坦地（埋立地）という特性を活かした賑わい空間・沿道景観の形成を図ります。
- ③接する建物との連続性に配慮したファサードの形成に努めます。



コミュニティー道路に接する共同住宅（泊）



オフィスビルの1階に設置されたポケットパーク（久茂地）



幹線道路沿いに残されているオキナワノ嶽（安里）



松尾の共同住宅

公開空地をつくり、緑化することなどにより周囲との調和を図った事例



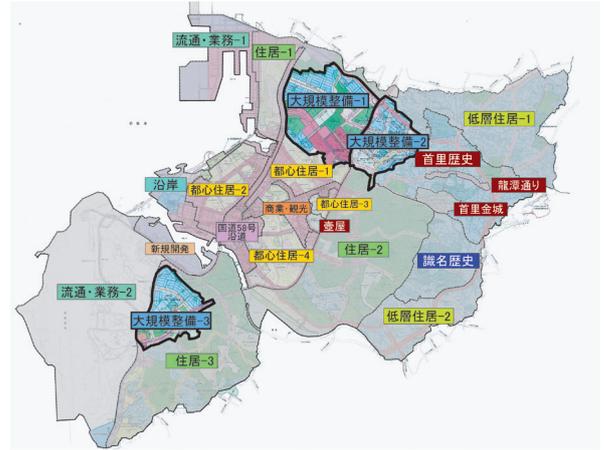
泉崎の共同住宅

4. 大規模整備エリア

■エリア区分

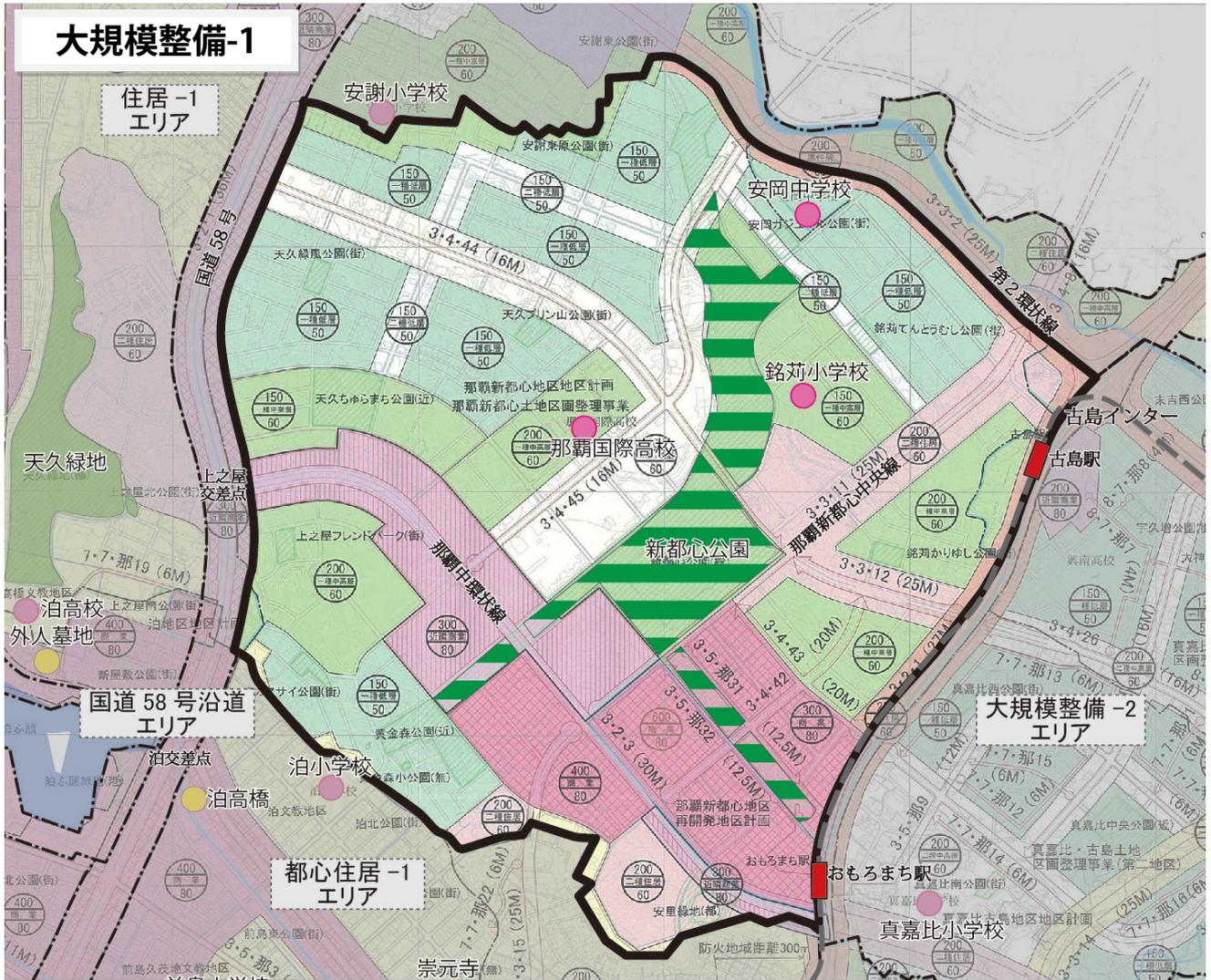
- 大規模整備エリア1 = 那覇新都心
- 大規模整備エリア2 = 真嘉比・古島
- 大規模整備エリア3 = 小禄金城

那覇新都心、真嘉比古島、小禄金城地区等は大規模かつ計画的に整備された地区であり、住居・商業など複数の用途を含んだ那覇市の新しい市街地景観が展開しています。また地区計画地区が設定され、それぞれの地区において規制・誘導がなされています。それらの個性ある景観をひとつのエリアとして区分します。



■骨格的景観要素図における位置図





大規模整備エリア1

：那覇新都心地区 地区計画区域



大規模整備エリア2

：真嘉比古島地区 地区計画区域



大規模整備エリア3

：小禄金城地区 地区計画区域



※地区計画については、まちなみ共創部建築指導課が所管しています。

＜景観整備の目標＞

- ・地区計画を十分に活用した良好な都市景観形成を目指します。

＜全体方針＞

- ①主として住居系の地域においては緑化修景等による潤いのある景観づくり、商業系の地域においては、活気・賑わいのある空間作りに努めます。
- ②建物の後退によって生み出された空間は、道路側に積極的に見せるよう緑化し、緑化された後退部分と道路空間が一体化した緑豊かな沿道景観の形成を図ります。

＜個別方針＞

- ①新都心公園は、連続する黄金森公園や銘苅古墓群等とともに、那覇新都心地区における緑深く、憩いの場として保全・育成を図ります。（大規模整備エリア1）
- ②がじゃんびら公園は区域を明確にする斜面緑地であり、中心市街地からはよく視認される緑の稜線として保全・育成を図ります。（大規模整備エリア3）
- ③那覇新都心地区一帯の商業地は地域の商業核であり、また「新しい那覇市の顔」のひとつとして、緑豊かな広々とした空間を維持しつつ、さらなる賑わい・活気のある空間形成を図ります。（大規模整備エリア1）
- ④小禄金城、モノレール小禄駅一帯の商業地は小禄地域の商業核として、緑豊かな広々とした空間を維持しつつ、さらなる賑わい・活気のある空間形成を図ります。（大規模整備エリア3）
- ⑤真嘉比・古島地区一帯は、緑豊かでゆとりある良好な低層住宅地の形成を中心とした空間形成を図ります。（大規模整備エリア2）



天久クレセント

石垣や生垣を活用することにより、潤いある住宅地の景観を形成している。

